



まほろん大人の塗り絵

法正尻遺跡大木7a 式期のムラ

上は、磐梯町と猪苗代町にまたがる法正尻遺跡にあった、縄文時代中期のムラの推定画です。約 5,500 年前の姿を描きました。

遺跡の南東上空から北西方向を見えています。右奥の山が飯豊山、その右手前の山が猫魔ヶ岳になります。遺跡の立地する丘陵は、ミズナラやコナラなどの落葉広葉樹に覆われ、一部を切り開いて竪穴住居が2軒建てられています。中央付近にある円形の土盛は、建設

中の竪穴住居で、周辺では、樹木の伐採が進んでいます。その左上の開地には、廃絶され森に返りつつある住居跡と貯蔵穴があります。左の竪穴住居の奥には、道が延びており、山の陰になるため描いていませんが、墓跡と考えられる土坑群があります。